

平成22年8月12日

部名

森林環境部

件名 「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」に関する2年間の実績について
(山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会)

- 経緯
- 山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会(金子栄廣会長)について
レジ袋を削減するための方策やレジ袋削減についての意識啓発等を行うため、事業者、消費者団体、行政等を構成メンバーとして平成19年8月31日設立。
 - 「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」について
 - ・H20.6.10 第1回協定締結式 協定参加事業者 18事業者107店舗
 - ・H20.6.30 協定参加のすべての事業者がレジ袋の無料配布を中止
 - ・H20.11.6 第2回協定締結式 協定参加事業者 8事業者10店舗
 - ・H21.5.26 第3回協定締結式 協定参加事業者 11事業者1組合347店舗
- ※H22.6.30現在参加事業者数 37事業者1組合452店舗

内容

1 レジ袋辞退者全体の削減効果(推計)

	1年目 (H20.7~H21.6)	2年目 (H21.7~H22.6)	2年間累計
レジ袋辞退者	5,542 万人	5,923 万人	11,466 万人
レジ袋辞退枚数	7,637 万枚 →1世帯あたり234枚、 県民一人あたり88枚を辞退	8,112 万枚 →1世帯あたり247枚、 県民一人あたり93枚を辞退	15,750 万枚 →1世帯あたり481枚、 県民一人あたり181枚を辞退
レジ袋削減重量	877.8 トン	927.3 トン	1,805.1 トン
原油削減量	1,812.7 KL →200Lのドラム缶約9,063本分	1,914.8 KL →200Lのドラム缶約9,574本分	3,727.5 KL →200Lのドラム缶約18,638本分
二酸化炭素削減量 (2008年家庭1世帯あたり排出量5,040Kg)	4,086.2 トン →約811世帯分の 年間排出量に相当	4,316.5 トン →約856世帯分の 年間排出量に相当	8,402.7 トン →約1,667世帯分の 年間排出量に相当

2 月別マイバッグ等の持参率

マイバッグ持参率の年間平均は、実施後1年目 (H20.7~H21.6)の85.2%から実施後2年目 (H21.7~H22.6)の87.1%へと、年間で1.9ポイント増加した。(2年間の平均マイバッグ持参率 (H20.7~H22.6)は86.2%)

1年目 (H20.7~H21.6)	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	年間
	83.7%	83.8%	84.9%	85.2%	84.3%	84.5%	84.4%	85.4%	85.3%	86.6%	86.7%	87.3%	85.2%
2年目 (H21.7~H22.6)	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H22.1	H22.2	H22.3	H22.4	H22.5	H22.6	年間
	86.9%	86.4%	87.1%	87.2%	87.2%	87.2%	86.9%	87.3%	87.1%	87.4%	87.4%	87.2%	87.1%

3 業種・業態別マイバッグ持参率

	スーパー・百貨店等	生活協同組合	農業協同組合・農の駅	クリーニング	合計
1年目 (H20.7~H21.6)	84.9%	99.5%	93.5%	96.6%	85.2%
2年目 (H21.7~H22.6)	86.7%	99.5%	92.1%	98.2%	87.1%

4 地域別マイバッグ持参率

	中北地域	峡東地域	峡南地域	富士・東部地域	合計
1年目 (H20.7~H21.6)	85.5%	87.5%	86.0%	82.2%	85.2%
2年目 (H21.7~H22.6)	86.6%	87.5%	86.4%	88.3%	87.1%

問合せ先: 環境創造課(ごみ減量化推進担当) 上野/畑山 内線6355 直通055-223-1506